



Prof. Chung Ayoung and Prof. Katsumura Makoto

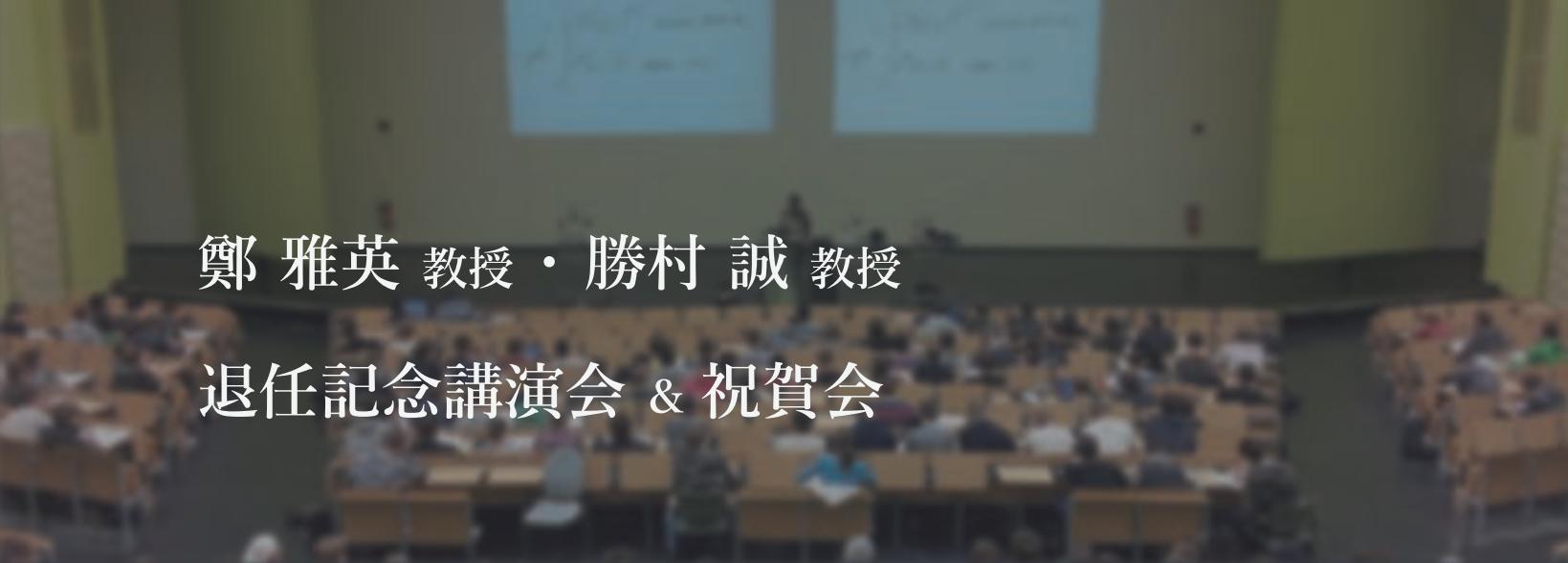
鄭 雅英 教授・勝村 誠 教授 退任記念講演会&祝賀会

Retirement commemorative lecture

SATURDAY
15.4.2023
02-08 PM

Conference Hall
Osaka Ibaraki Campus
Ritsumeikan University





鄭 雅英 教授・勝村 誠 教授

退任記念講演会 & 祝賀会

司 会 石川 亮太 さん 立命館大学経営学部教授

■ 開会のあいさつ 伊地知 紀子 さん 国際高麗学会日本支部会長・大阪公立大学教授
徐 勝 さん 初代立命館大学コリア研究センター長・韓国又石大学碩座教授

■ 勝村 誠 教授 講演 「一国史を越える政治外交史の模索」
立命館大学政策科学部

■ コメント 中戸 祐夫 さん 立命館大学国際関係学部教授

休憩

■ 鄭 雅英 教授 講演 「私の中途半端な履歴書」
立命館大学経営学部

■ コメント 金 友子 さん 立命館大学国際関係学部准教授

■ 花束・記念品贈呈

18:00— 祝賀会

会場：Garden Terrace LION 立命館大学いばらきフューチャープラザ店



誠
勝
村
KATSUMURA
MAKOTO

略歴

1957年7月22日 大阪府守口市生まれ

学歴

- 1976年 岡山県立岡山朝日高校卒業
1981年 中央大学法学部政治学科卒業
1989年 中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士前期課程終了 法学修士
1995年 中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得後退学

職歴

- 1981年-1986年 東京都一般事務職員(公立中学校と都立定時制高校に勤務)
1986年-1998年 予備校講師、多摩市史編纂室専門調査員など数々の非正規職を歴任
1996年-1998年 中央大学法学部非常勤講師
1998年-1999年 東京都多摩市役所市史編さん室(編集担当)
1999年-2007年 立命館大学政策科学部助教授
2007年- 立命館大学政策科学部教授

学内役職

- 2001年-2002年 政策科学部学生主事
2006年-2008年 高大連携推進室長
2006年-2008年 アドミッションズオフィス室長
2007年-2009年 教学部副部長
2011年-2019年 コリア研究センター長
2013年-2014年 入試副総主査
2014年-2015年 入試総主査
2015年- 国際平和ミュージアム運営委員
2017年-2019年 教学部副部長
2020年- コリア研究センター長
2023年- 国際平和ミュージアムメディアセクター長

学会活動

- 日本社会文学会・理事
国際高麗学会日本支部・会員
歴史学研究会・会員
日本平和学会・会員
初期社会主義研究会・会員

社会活動(現職)

- 京都府井手町個人情報保護審査会会長
京都歴史教育者協議会会長
ウトロ民間基金財団評議員
学校法人コリア国際学園評議員
故郷の家・京都支援の会世話人

学外研究歴

- 2004年・2010年 東亜大学校(大韓民国釜山広域市)石堂研究院客員研究員
2019年8月-9月 延辺大学(中国吉林省)民族学研究所客員研究員
2020年2月-3月 独立記念館韓国独立運動史研究所(忠清南道天安市)訪問教授

主要業績

■ 書籍(共著・発行日降順)

- 『安重根と東洋平和論』日本評論社, 2016年.(共監訳)
『図録 植民地朝鮮に生きる－韓国・民族問題研究所所蔵資料から』岩波書店, 2012年.
『『人民戦線』解題・総目次・索引』不二出版, 2006年.
『多摩広域行政史－連携・合併の系譜』財団法人東京市町村自治調査会2002年.
『多摩市史 通史編二 近現代』多摩市, 1999.

■ 論文(単著・発行日降順)

- 「一国史を越える政治外交史の模索－退職にあたっての所感」『政策科学』31(3), 2023.
「ウトロ平和祈念館の展示を通して居住権について考える」『立命館経営学』61(6)(小久保みどり教授退任記念号・鄭雅英教授退任記念号), 2023.
「安重根「安應七歴史」「東洋平和論」「聴取書」の「発見」と受容」龍谷大学社会科学研究所付属安重根東洋平和研究センター・李洙任教授退職記念刊行委員会[編]『安重根・「東洋平和論」研究－21世紀の東アジアをひらく思想と行動』明石書店, 76-103, 2022.
「[資料紹介]安重根の獄中供述記録「聴取書」を中心に」『コリア研究』立命館大学コリア研究センター(11)41-62, 2020.
「日本から見た安重根と東洋平和論」辛暎承編『3・1運動と大韓民国臨時政府III 安重根と東洋平和論』東北亞歴史財団, 2020.(韓国語)
「民族自決主義と3・1独立運動に対する日本社会の認識変化の研究：新聞と雑誌の論説を中心に」『2019統一人文学世界フォーラム論文集：3・1運動100周年：抗日独立運動の国際的性格と意味』建国大学校, 2019.(韓国語)
「韓日関係と韓国学関連研究センターの現状と活動そして課題」圓光大学校韓中関係研究院・東北アジア人文社会研究所編『海外韓国学研究の現況と展望：モンゴル・中国・ロシア・日本』43-88, 2019.(韓国語)
「安重根義挙と日本の反応－義挙直後の新聞論説を手がかりに」『安重根義士殉国109周年国際学術シンポジウム：安重根義士のハルビン義挙と国内外の反響』独立紀念館韓国独立運動史研究所, 84-115, 2019.
「川柳作家鶴彬の反戦平和運動」『韓国独立運動史研究』(61)221-275, 2018.
「安重根義士の東洋平和論と東北アジア平和共同体の模索」都時煥編『韓日協定50年の再照明V：韓日協定50年の省察と平和共同体の模索』395-419, 歴史空間, 2016.(韓国語)
「日韓自治体交流の現状と課題について：職員相互派遣の可能性の展望」『環東海レビュー』(韓東大学校環東海経済文化研究所)8(1), 23-48, 2012.(韓国語)
「軍港舞鶴の記憶とローカル・アイデンティティ」『海港都市文化交渉学』韓国海洋大学・国際海洋問題研究所(2), 167-182, 2010.
「安重根の東洋平和論」『歴史地理教育』歴史教育者協議会(754), 64-69, 2010.
「安重根と朝鮮植民地支配について」『歴史地理教育』(753), 72-77, 2010.
「中西伊之助文学における朝鮮」木村一信・崔在喆編『韓流百年の日本文学』104-120, 人文書院, 2009.
「大正・昭和期の朝鮮－中西伊之助」『社会文学』(29), 28-37, 2009.
「中西伊之助の植民地観－『諸土に芽ぐむもの』を手がかりに」『日本文化研究』大韓民國・東アジア日本学会(14), 7-28, 2005.

立命館大学 RITSUMEIKAWA
UNIVERSITY





- 「地域政策の源流」村山皓・川口清史編『政策科学の基礎とアプローチ』70-81, ミネルヴァ書房, 2004.
- 「京都市の行政計画における市民参加の位置付けとその実態」大学コンソーシアム京都編『行政計画の策定・遂行のマネジメントシステムに関する研究』59-69, 2003.
- 「多摩ニュータウン研究の<これまで>と<これから>—開発への視座と課題について」パルテノン多摩『【企画展】多摩ニュータウン開発の軌跡』(展示図録), 1998.
- 「多摩ニュータウン開発計画の決定過程について」『多摩ニュータウン研究』多摩ニュータウン学会(1), 13-31, 1998.
- 「地域にそくした近現代史研究への接近—八王子市東中野地域のフィールドワークより」『多摩学会』(8), 1998.
- 「都市化と地域の自治権の再編に関する史的考察: 東京市域拡張前後の品川地域の事例にもとづいて」『法学新報』中央大学法学部, 101(8), 177-199, 1995.
- 「多摩ニュータウン計画と地元側の対応について—開発計画の決定と計画区域の変更を中心に」『ふるさと多摩多摩市史年報』(6), 10-28, 1994.
- 「『労働世界』時代の加藤勘十: 第一次大戦後の労働運動に関する一考察」『中央大学大学院研究年報: 法学研究科編』(22), 163-175, 1992.

■ 書評

- 「黒川伊織著『戦争・革命の東アジアと日本のコミュニスト: 1920—1970年』壮大なスケールで描く東アジア共産主義運動の叙事詩」『初期社会主義研究』(29), 276-280, 2021.
- 「1965年の「曖昧な妥結」をのりこえ、植民地支配認識を問い直すために 吉澤文寿『日韓会談1965: 戦後日韓関係の原点を検証する』」『平和研究』日本平和学会(46), 111-116, 2016.

■ 翻訳(韓国語⇒日本語・発行日降順)

- 金周溶「1920年の間島朝鮮人ジェノサイドに動員された韓人警察—順応、協治、帝國の代弁者」『政策科学』31(3), 2023.
- 金度亨「3・1 独立宣言書の国外への伝播者V.S.マクラッチャー」『政策科学』31(3), 2023.
- 金炯睦「大韓帝国期の慶南・釜山地域における夜学運動の性格」『政策科学』31(3), 2023.
- 崔晶基「5・18 民主化運動と在日同胞社会の対応—5・18 民主化運動以後 1980 年末までの『民族時報』の記事を中心に」『政策科学』31(3), 2023.
- 朴敏泳「安重根のロシア沿海州地域における義兵闘争」『政策科学』31(3), 2023.
- 金度亨「尹奉吉の思想と独立運動の戦略」『コリア研究』(9), 83-97, 2018.
- 金祥起「尹奉吉義士の金沢殉国と顯彰事業」『コリア研究』(9), 99-113, 2018.
- 吳瑛燮「安重根の義兵運動」李泰鎮+安重根ハルピン学会(編著)『安重根と東洋平和論』日本評論社, 44-76, 2016.
- 趙成雲「韓国高校歴史教科書における東学農民運動の叙述の変遷」『コリア研究』(6), 47-69, 2015.
- 李浩龍「植民地期の朝鮮アナキストによる共産主義批判」『トスキナア』12, 15, 16, 2010~2012.
- 盧重琦「韓国における労働の危機と民主主義—民主化20年、残された課題」『コリア研究』(2), 125-139, 2011.
- 洪淳權「1910~20年代釜山府協議会の構成と地方政治—協議会の任命と選挙の実態分析を中心に(1)・(2)」『政策科学』16(1)・(2), 2008・2009.(宋嶽營との共訳)

CHUNG AYOUNG 鄭雅英 정아영



鄭雅英教授
PROF.CHUNG
AYOUNG

略歴

1958年 横浜生まれ。韓国国籍の在日朝鮮人2世

学歴

1983年 早稲田大学政経学部政治学科卒業
1996年 法政大学大学院社会学研究科修士課程修了
2001年 大阪市立大学大学院経済学研究科博士課程修了、
博士(経済学)

職歴

大学卒業後に夜間を含む中学校2校、定時制を含む高等学校4校及び関西地域9大学の非常勤講師、大阪府民族講師(小学校)を歴任

2006年 立命館大学経営学部に着任、至現在

1993-94年と2015年に中国吉林省延辺大学に滞在。
中国朝鮮族革命運動史、中国朝鮮族教育史、朝鮮文学、
延辺農業史などを学ぶ

中国朝鮮族の歴史・社会・経済、濟州島出身在日朝鮮人生活史、解放後在日韓国・朝鮮人学生運動史などを研究

趣味

登山、飲み鉄ほか

■ 所属学会など

- 2006- 立命館大学コリア研究センター運営委員
- 2006- 国際高麗学会日本支部理事
2017-2022 同会長
- 2010- 朝鮮族研究学会日本支部理事
2020- 同副会長
- 2020- 北東アジア学会理事

■ 研究代表者として獲得した 科学研究費研究テーマ

- ・基盤(B)中国朝鮮族の移住労働における女性の役割と「トランジショナルな家族」の研究
2012-2015
- ・基盤(C)移民の「ネーション(国民)」意識に関する研究－中国朝鮮族と在日朝鮮人を事例に
2017-2020
- ・基盤(C)在外コリアン学生の1960年代－グローバルヒストリーの観点から



主要業績

■ 書籍(単著)

『中国朝鮮族の民族関係』アジア政経学会現代中国研究叢書
xxvii, 2000

■ 書籍(共著)

- 『濟州島を知るための 55 章』伊地知紀子ほか編, 明石書店, 2018
『転換期中国の企業群像』佐々木信彰編著, 晃洋書房, 2018
『現代中国の産業と企業』佐々木信明編著, 晃洋書房, 2016
『故郷の家族、北の家族ー在日濟州人の生活史II』在日濟州人の生活を記録する会, 図書出版ソニン, 2015(韓国語)
『安住の地を探してー在日濟州人の生活史I』在日濟州人の生活を記録する会, 図書出版ソニン, 2012(韓国語)
『東アジアの間地方交流の過去と現在 濟州と沖縄・奄美を中心として』津波高志編, 彩流社, 2012
『21 世紀の東アジアー平和・安定・共生』藤本和貴夫ほか編, 大阪経済法科大学出版部, 2010
『中国の改革開放 30 年の明暗ーとける国境、ゆれる国内』佐々木信彰監修, 世界思想社, 2009

■ 書籍(編著)

国際高麗学会編集委員会編『在日コリアン辞典』明石書店, 2010

■ 論文

「中国朝鮮族の1960年代ー文化大革命へのプロセスと少数民族の試練」『經濟學雜誌』朴一教授退任記念号, 大阪市立(公立)大学, 2023

「越境するナショナルアイデンティティー中国朝鮮族の1950年代」『政策科学』30-3(勝村教授退任記念号), 立命館大学政策科学部, 2023

「国共内戦期中国東北朝鮮人のナショナルな帰属意識ー延辺帰属論をめぐって」北東アジア学会『北東アジア地域研究』, 2020

「中国朝鮮族の昨日と今日」上・中・下, 『アリラン通信』60-62号, 文化センターアリラン, 2018-2019

「濟州島 4・3 と在日同胞社会ー沈黙から慰靈まで」『2018 統一人文学世界フォーラム論文集』, 建国大学校, 2018(韓国語)

「中国・延辺朝鮮族自治州紀行ー歴史と現在」『立命館経営学』55(5), 2018

「韓国の「多文化政策」と多文化主義言説ー移民政策の転換と展望」『立命館経営学』52(4, 5), 2014

「中国・図們江開発計画の新展開ー先導する「長吉図」と「延龍図」」, 大阪市立大学『經濟學雜誌』111(2), 2010

「在日同胞社会と韓国 4,19 革命」『国際高麗学』(13), 2009(韓国語)

「在日韓国人学生の1960年代ー早大韓文研『高麗』を読みながら」大阪国際平和研究所紀要『戦争と平和08』, 2008

「韓国の在外同胞移住労働者ー中国朝鮮族移住労働者の受け入れ過程と現状分析」『立命館国際地域研究』(26), 2008

立命館大学 RITSUMEIKAN
UNIVERSITY



立命館大学 コリア研究センター
<https://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/ricks/index.html>
korea@st.ritsumei.ac.jp

国際高麗学会 日本支部
<https://isks.org/>
isksj@isks.org